

# 君は知らないうちに こんなあぶないことをしていませんか？

## 海や川で

楽しい水遊びの季節がやってくると、海や川や池で遊んだり、魚とりや生き物を探したり、魚のように自由に泳いで遊びたいくなります。でも陸上と違い、水辺ではちょっとした不注意で生命を失ったり、大きなケガをしてしまいます。この絵のお友だちはどうして危ないのかな？ みんなで一緒に考えてみよう。



### 離岸流

岸から沖に向かって流れる水の流れ



### 逆潜流

岸によせてきた波が海底の傾斜によって沖に戻る水の流れ



③ 沖にむかって泳ぐ



⑥ 足がつかないところで遊ぶ



④ 河口のそばで遊ぶ

⑤ 子どもだけでボートにのる

自然災害(台風、地震、雪など)の可能性があるときには、水辺には近づかないようにしましょう。注意報や警報が出ていないか、その地域の避難場所はどこかなどを確認してください。

① 大きな岩や消波ブロックのそばで遊ぶ

② 川沿いの草がおいしげっているところで遊ぶ



⑦ つきそいの大人の人から遠くはなれたところへいく

## プールで

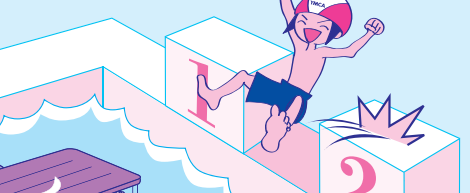


④ プールサイドを走る

② 後かたづけをしない



③ 飛び込んで遊ぶ



⑦ 台の下にもぐって遊ぶ



⑤ 足がつかないところで浮具につかまって遊ぶ



① 水中めがねやシュノーケルをつけて遊ぶ



⑧ 悪ふざけをする



## 保護者の方へ

子どもたちは、危険な行為や危険な場所であるかどうかの判断ができません。遊びに熱中すると周囲の状況が目に入らなくなってしまう。お子さまと、この絵の子どもたちがどうして危ないのか話し合ってみてください。そしてその理由を保護者の皆さんからしっかり伝えてあげることが水の事故防止につながります。また、子どもたちは遊びたい一心で真実が悪いのに我慢してしまうことがあります。楽しい水遊びが原因で病気になってしまうよう、健康チェックを済ませてから水遊びをする習慣をつけましょう。

## 健康チェック項目

- ☐ 熱はないか
- ☐ 顔色はよいか
- ☐ 風邪をひいていないか
- ☐ 目や耳の病気はないか
- ☐ 疲れている様子はないか
- ☐ 寝不足ではないか
- ☐ 食欲はあるか